世界史B

指導目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ，文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

教材	教科書：「新選　世界史B」（東京書籍） 学習書：「新選　世界史B　学習書」 レポート・学習ノート

レポート	全12回
面接指導	必要時間数：1時間　（※面接指導減免6割の学習者は必要2時間）
放送	全40回（テレビ　WEB視聴可）
効果測定・試験	中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）

単位	4単位
評価	レポート提出状況（提出期限）および各回評価、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況、到達度チェックおよび試験結果等を総合的に評価し判定。

	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	到達度チェック 年度末試験
月	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1 2	① 「オリエンテーション」 学習をすすめる上での注意事項や世界史を学ぶ上でのウォーミングアップ	1	「世界史への招待」	オリエンテーション（VOD） 科目の学習概要の説明	
			3 4	② 「ギリシア世界とヘレニズム文化」 古代ギリシアの市民社会、奴隷制度、文化などについて理解する。	2 3	「オリエント文化」 「ギリシアと都市国家」		
5			1 2	③ 「ローマ帝国と地中海世界」 ローマが都市国家から帝国へ拡大していく過程をつかむ。キリスト教の成立について理解する。	4 5	「ローマ帝国」 「古代インド」		
	第１回 （5月20日）	Ⅰ.世界史への扉 Ⅱ.オリエント文明の形成 Ⅲ.ギリシア世界とオリエント Ⅳ.ローマ帝国と地中海世界	3 4	④ 「古代インド文明の形成」 アーリア人の侵入とその影響、バラモン教の成立について理解する。	6 7 8	「東南アジア世界の形成」 「中華帝国の形成」 「中国の分裂と多様化」		
6	第２回 （6月10日）	Ⅰ.古代インド文明の形成、 ヒンドゥー国家と社会の展開 Ⅱ.東南アジア世界の形成 Ⅲ.中国の古典文明、 始皇帝の中国統一	1 2	⑤ 「中国文明の形成」 古代中国文明の特色を理解する。 「中華帝国の形成」 秦が中国を統一した過程をつかみ、漢にいたる支配体制の変遷を理解する。	9 10	「唐と東アジア」 「古代・中世の朝鮮半島」		
	第３回 （6月30日）	Ⅰ.中華帝国の形成 Ⅱ.中国の分裂と遊牧民族 Ⅲ.中華帝国と東アジア Ⅳ.古代・中世の朝鮮半島 Ⅴ.イスラーム国家の成立	3 4	⑥ 「中華帝国と東アジア」 隋と唐の繁栄を支えた支配体制と、国際的な文化について理解する。 「イスラーム国家の成立」 イスラームの考え方をつかむとともに、広大なイスラーム国家を築いた過程をつかむ。	11 12	「西アジア・中東の新展開」 「ビザンツ帝国」		
7	第４回 （7月15日）	Ⅰ.アフリカ・南アジアの イスラーム化 Ⅱ.ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界 Ⅲ.西ヨーロッパ世界の成立	1 2	⑦⑧ 「西ヨーロッパ世界の成立」 ゲルマン人の大移動と、フランク王国の発展の背景についてつかむ。	13 14	「西ヨーロッパ世界の成立」 「十字軍の時代」		
			3 4		15 16	「モンゴル帝国」 「繁栄する西アジア・中東の都市」		

8			1 2	⑨⑩ 「モンゴル帝国の興亡」 遊牧民族特有の機動力を理解し、モンゴル帝国の拡大の過程をつかむ。				
	第５回 （8月25日）	Ⅰ.ヨーロッパ世界の変動 Ⅱ.モンゴル帝国の興亡 Ⅲ.イスラーム諸国家の繁栄	3 4		17	「明朝から清朝へ」	オンラインサポート配信 中間到達度チェックに向けて 第3回～第4回レポート範囲復習	
9			1 2	⑪ 「明と清の繁栄」 明と清の繁栄を支えた仕組みに注目するとともに、対外政策の特徴をつかむ。	18 19	「近世の朝鮮王朝」 「大航海時代」		
	第６回 （9月20日）	Ⅰ.明と清の繁栄 Ⅱ.東アジア諸国の発展 Ⅲ.インドのムガル帝国	3 4	⑫ 「大航海時代」 ポルトガル、スペインの支援のもと、航路を開拓していく過程を、アジア・アメリカ大陸から捉えた視点とともにつかむ。	20 21	「アフリカへのヨーロッパ人の進出」 「ルネサンスと宗教改革」		中間到達度チェック 範囲：レポート第3回～第4回
10			1 2	⑬ 「主権国家の成立」 ヨーロッパ諸国がそれぞれどのような過程で主権国家としてまとまったかを理解する。	22 23	「ヨーロッパの主権国家」 「ロシア帝国」		
	第７回 （10月20日）	Ⅰ.大航海時代 Ⅱ.ルネサンスと宗教改革 Ⅲ.近代主権国家の成立	3 4	⑭ 「アメリカ合衆国の独立」 イギリスとフランスの植民地争いを踏まえ、イギリス本国の圧力から13の植民地が独立した過程をつかむ。	24 25	「アメリカ合衆国の独立とフランス革命」 「産業革命と社会問題」		
11	第８回 （11月10日）	Ⅰ.ロシア帝国の勢力拡大 Ⅱ.アメリカ合衆国の成立 Ⅲ.フランス革命とナポレオン Ⅳ.産業革命 Ⅴ.東方問題とロシア	1 2	⑮ 「フランス革命とナポレオン」 フランス革命前の身分制社会を理解するとともに、革命が起こった背景と経緯をつかむ。	26 27	「19世紀ヨーロッパと国民国家」 「アメリカ合衆国の発展」		
			3 4	⑯ 「東アジアの変動」 東アジア諸国が欧米の圧力を受けてどのように変容したのか理解する。	28 29 30	「ムガル帝国からインド帝国へ」 「19世紀東アジアと帝国主義」 「第一次世界大戦」		
12	第９回 （12月5日）	Ⅰ.ウィーン体制と1848年の革命 Ⅱ.国民国家の建設と国際関係の変化 Ⅲ.東アジアの変動	1 2	⑰ 「世界を支配する国々」 第２次産業革命が起こり、産業構造が変化する中で、欧米の帝国主義政策がどのようにすすんだかつかむ。	31 32	「ロシア革命」 「第二次世界大戦」		
	第10回 （12月30日）	Ⅰ.世界を支配する国々 Ⅱ.第一次世界大戦とロシア革命 Ⅲ.インドの独立運動	3 4	⑱ 「第一次世界大戦」 第一次世界大戦が起こった背景と経緯、長期化した要因を理解する。	33	「アジアの独立」	オンラインサポート配信 年度末試験に向けて 第7回～第8回レポート範囲復習	
1			1 2	⑲⑳㉑ 「第二次世界大戦」 第一次世界大戦後の国際関係を理解しながら、第二次世界大戦が起こった背景をつかみ、その犠牲者についても理解する。	34 35	「トルコ革命とパレスティナ分割」 「冷戦とその終結」		
			3 4		36 37	「中国の現代史」 「アフリカ諸国の独立」		年度末試験（年度末S・T・U） 範囲：レポート第7回～第8回

2	第11回 （2月5日）	Ⅰ.トルコ革命～東南アジアの独立運動 Ⅱ.中国の現代史 Ⅲ.世界恐慌とファシズム Ⅳ.第二次世界大戦	1 2		38 39	「ラテンアメリカとアメリカ合衆国」 「近現代の朝鮮半島」		
	第12回 （2月20日）	Ⅰ.冷戦の展開と第三世界 Ⅱ.平和の共存 Ⅲ.冷戦の終結とその後の世界	3 4	㉒「冷戦の展開と第三世界」 世界平和をめざした戦後世界で、なぜ冷戦が始まったのかを理解し、また第三世界の国々の台頭についてもつかむ。	40	「未来につなぐ世界史」		
3			1 2					
			3 4					